

研究・調査報告書

報告書番号	担当
295	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学
題名 (原題/訳)	
Association between alcohol consumption and metabolic syndrome in 19,215 middle-aged and elderly Chinese. 19,215名の中老年中国人における飲酒量とメタボリックシンドロームの関係について	
執筆者	
Jin L, Huang Y, Bi Y, Zhao L, Xu M, Xu Y, Chen Y, Gu L, Dai M, Wu Y, Hou J, Li X, Ning G	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
Diabetes Res Clin Pract. 2011 Jun;92(3):386-92.	
キーワード	
メタボリックシンドローム、飲酒量、中国人	
要旨	
目的: 中国人集団における飲酒量とメタボリックシンドロームの関係を明らかにする。	
方法: 2008年6月から2009年4月までの上海の40歳以上の19,215名の地域住民を横断的に分析した。酒種や量を含む飲酒に関する情報は、標準的な質問紙法によった。診察を行うと共に、生化学を測定するための空腹時血糖を採取した。	
結果: 男性では、ワインだけの飲酒者は、年齢、性、BMI、教育水準、運動、喫煙を調整しても、飲まない群に比べて、一定量(50g/日)以上で、メタボリックシンドロームのリスクが53%高かった。女性では、飲酒量はメタボリックシンドロームの罹患とは関係がなかった。ビールのみ、リカーのみ、複数の飲酒者は、メタボリックシンドローム及びその関連要因と飲酒量の間に関連はみられなかった。	
結論: 中国人男性において、過剰なワイン飲酒(50g/日以上)とメタボリックシンドロームの高い割合が関係していることが示された。	